



広報

なほ

市民の友

第682号 毎月1回発行
2007年(平成19年)
11月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 (株)近代美術

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2007(平成19)年9月末現在	
総人口	316,351 (2,012)
男	152,668 (1,042)
女	163,683 (1,970)
世帯数	131,093 (1,190)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本庁	93,900
真和志	104,874
首里	58,097
小祿	57,468



(円内) 高校生代表として意見発表する読谷高校3年の津嘉山拓大さん(右)と照屋奈津美さん

史実をねじ曲げるな!

高校教科書検定問題

来年の春から高等学校で使用される歴史教科書から、沖縄戦でのいわゆる集団自決に日本軍が直接関与したとする記述が削除された問題で、検定意見の撤回と記述の回復を求める「教科書検定意見撤回を求める県民大会」が9月29日(土)、宜野湾市海浜公園多目的広場で行われました。

この日は、両親に手を引かれた女子、制服姿の中学生や高校生のグループ、杖をついた高齢者、車イスに乗った障がいを持つ方など、夏を思わせる日差しの下、会場を目指す人の波が途切れることはありませんでした。

また、大会がはじまっても会場に入りきれなかった人々が、遠くから聞こえる集団自決の体験者の証言や高校生代表の訴えに静かに耳を傾けていました。

参加者の一人は「史実をねじ曲げしかも無かったことにしようとしていることは、絶対に許さない。歴史をきちんと子や孫に伝え、二度と戦争を起こさないようにするのが、生き残った我々の責任です」と話していました。

この日の会場は、歴史を歪曲しようとする文部科学省への戦没者の声なき声を代弁するかのような、11万6千人余の怒りの声で埋め尽くされました。

(3面に関連記事)

主な紙面

6	7	4	5	3	2
情報PACK	子育て応援ガイド	子どもの笑顔がいっきと輝くまちへ	那覇市環境フェア2007	歴史の歪曲は絶対に許さない	始めようあなたのエコライフ

協働のまちづくり つむぎ 那覇を紡ぐ



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。

去る8月23日、生活の足を考えるシンポジウム実行委員会(以下「実行委員会」という。)主催による「生活の足を考える交通シンポジウム」が開催されました。このシンポジウムは、公募で集まった小学校5・6年生14名が、環境と交通をテーマに、会場に詰め掛けた大人達へ向けて地球環境の現状と県や市の交通事情について発表し、解決策を提案し、さらには会場との討論を行うというものです。

環境のために 効率よい車の利用

「協働の取り組み」です。わたしたちが自動車以外の交通手段を有効に利用することで、健康増進、環境保護、福祉の充実、公共マナーの体得、中心市街地や地域の活性化など、様々な効果が期待できます。持続可能なまちづくりのために自動車に頼りきったライフスタイルの見直しを図ってみてはいかがでしょうか。



環境のためにも、効率の良い自動車の利用を考えようと提言する子どもたち